

豊受大神宮 外宮

とようけだいじんぐう (げくう)

あまてらすおおみかみ とうよけのおおみかみ
天照大神のお食事を司る神の豊受大神をおまつりしています。
内宮創建から500年後に山田原に迎えられました。衣食住をはじめあらゆる産業の守り神です。



御饌殿 みけでん
毎日朝夕の2度、天照大神・豊受大神を始めとする神々をお祭りするための御殿。お供えする神饌(しんせん)は、毎朝おこした清浄な火「忌火(いみび)」を使用して忌火屋殿で調理される。

正宮 しょうぐう
正殿を中心とする社殿は内宮とほぼ同じ様式ですが、殿木は9本で千木は垂直に切られています。また、社殿の配置が異なります。

土宮 つちのみや
大土乃御祖神(おおつちのみおやのかみ)をまつる別宮(べつぐう)です。古くから山田原(やまだのはら)の鎮守(ちんじゆ)の神としてみつられ、外宮創建後は宮城(きゅういぎ)の地主の神とおまつりされています。

別宮 遙拝所
べつぐうようはいしよ
かめいし
亀石

風宮 かせのみや
風の神をおまつりする別宮(べつぐう)です。鎌倉時代の元寇(げんこう)の時、神風(かみかせ)を吹かせて日本をお守りになった神として知られています。

多賀宮 たかのみや
豊受大神(とよけのおおみかみ)の荒御魂(あらみたま)をおまつりする別宮(べつぐう)です。山の頂きにあるため古くから高宮(たかのみや)と呼ばれていました。

神楽殿 かぐらでん
ご祈祷(きとう)のお神楽(かぐら)や御饌(みけ)を行う御殿です。お札やお守りも授与しています。鎌倉時代風の屋根が美しい建物です。

手水舎 てみずしゃ
参拝前に心身を清めます。手水(てみず)の作法は、左手・右手の順で手を清め、左手に水をすくい口をすすぎ、最後に左手を洗い流しましょう。柄杓(ひしゃく)に直接口をつけないのが礼儀です。

せんぐう館 せんぐうかん
式年遷宮の資料館です。外宮正殿の模型・神宝の調製工程・遷宮祭の様態などが展示されています。シアター・検査コーナーなども充実しており、神宮や神道について深く知ることができます。休憩所から望まがたま池の景観も美しく、舞台では観月会などの行事が催されます。

◆ **せんぐう館 利用案内** ◆
開館時間：9:00～16:30 (入館は16:00まで)
休館日：毎月第4火曜日(祝日の場合は翌日)
照会先：☎ 0596-22-6263

神宮 -お伊勢まじりは外宮から-

伊勢神宮は日本人の心のふるさとといわれ、「お伊勢さん」「大神宮さま」とも呼ばれ、親しまれています。正式名称は「神宮」といい、宇治の五十鈴の川上にある皇大神宮(内宮)と、山田原にある豊受大神宮(外宮)の両大神宮を中心として、14所の別宮、43所の摂社、24所の末社、42所の所管社があります。「神宮」はこれら125の宮社の総称でもあります。



▼内宮へは近鉄「宇治山田駅」より内宮行きバス約15分 ▼外宮へは近鉄・JR「伊勢市駅」より徒歩5分 ▼両宮間もバスが利用できます。
▼車で、伊勢自動車道「伊勢西インター」から、外宮・内宮とも約5分。

神宮司庁 広報室

〒516-0023 伊勢市宇治館町1 ☎ 0596(24)1111(代)
<http://www.isejingu.or.jp/>